

問1 兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。

(2021年 大阪府公立入試 類似)

1. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である
2. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である
3. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である
4. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である

問2 縄文時代末期に大陸から北九州地方へ稲作が伝来したことにより、その後の社会の仕組みはどのように変化しましたか。最も適切な説明を選びなさい。

(2016年 奈良県公立入試 類似)

1. 米を貨幣として使用する制度がすぐに確立し、中央集権的な国家が全国に一斉に誕生した。
2. 大陸との交易が独占されたため、各地の集落が独立したまま争いのない平和な時代が続いた。
3. 全国で狩猟や採集が完全に行われなくなり、全ての集落が移動をしない定住生活を同時に開始した。
4. 食料の保存が可能になったことで、蓄えの多寡による富の差や、土地や水をめぐる争いが生じるようになった。

問3 稲作が朝鮮半島から伝わり、人々の生活が変化した時代に使用された道具の説明として、最も適切なものはどれですか。

(2018年 北海道公立入試 類似)

1. 日本独自の貨幣として、富本銭が発行された
2. 権力者の墓の周囲に並べるために、埴輪が作られた
3. 豊作を祈る祭りなどのために、青銅器である銅鐸が使われた
4. 魔除けや食物の豊かさを祈り、土製の人形である土偶が作られた

問4 弥生時代の文化を象徴する遺物である「銅鐸」について、その使用目的や出土傾向を正しく説明しているものはどれか。

(2024年 京都府公立入試 類似)

1. 実際の戦いや狩猟で使用するための実戦的な武器として、東日本を中心に広く普及した。
2. 最新の農耕技術を伝えるための工具として、兵庫県や島根県などの沿岸部のみで限定的に使用された。
3. 豊作を祈るための祭りの道具として用いられ、滋賀県や和歌山県を含む近畿地方で多くの出土が確認されている。
4. 縄文時代から続く伝統的な風習において、死者を埋葬する際に手足に装着する装身具として使われた。

問5 日本の弥生時代中期には、現在の千葉県茂原市に位置する宮ノ台遺跡から出土した「宮ノ台式土器」に代表されるような地域独自の文化が見られました。この日本の弥生時代中期と同じ頃、地中海周辺を中心とする世界ではどのような歴史的な動きがありましたか。

(2023年 千葉県公立入試 類似)

1. メソポタミアでハンムラビ王が法典を整え、周辺地域を統一した。
2. 中国で殷（商）が成立し、祭祀に用いるための精巧な青銅器が作られていた。
3. ローマが領土を拡大し、地中海一帯を支配するローマ帝国となった。
4. エジプトで巨大なピラミッドが建設され、王の強大な権力が示されていた。

問6 弥生時代に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏に使いを送った政治的な理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選択してください。

(2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 鉄製農具の使用を全国に普及させるため、魏から大量の鉄資源を安価に輸入する独占的な貿易ルートを確認するため。
2. 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。
3. 日本列島に迫っていた魏の軍事的侵攻を回避するため、多額の貢ぎ物を持参して講和を結ぶため。
4. 律令国家の仕組みを学ぶために、魏の進んだ法制度や官僚機構を日本に導入して中央集権化を図るため。

問7 3世紀前半の倭（日本）において、邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送った背景と、その結果として得られたものについて説明した文として最も適切なものはどれですか。

(2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. 仏教などの新しい文化や技術を取り入れるため、百済を通じて大陸との国交を樹立し、高度な官僚組織を構築しようとした。
2. 後漢の皇帝から金印を授かることで、九州北部を中心とした小国の連合を強固なものとし、大陸との交易を独占しようとした。
3. 中国の唐から律令制度を導入するために遣唐使を派遣し、天皇を中心とした中央集権国家の仕組みを整えようとした。
4. 中国の魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡などを授かることで、自らの権威を国内に示し、統治を安定させようとした。

問8 弥生時代の代表的な遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡について、その集落の構造を説明した記述として最も適切なものを次から選びなさい。

(2023年 佐賀県公立入試 類似)

1. 大規模な公共事業を行うため、周囲の山を削って平地を作り、規則正しく住居が並んでいる。
2. 外敵の侵入や攻撃を防ぐため、集落の周囲に深い溝（濠）を掘り、さらに柵を巡らせている。
3. 交易を円滑にするため、海岸線に沿って長い石垣が築かれ、港の機能を中心としている。
4. 収穫した稲をネズミや湿気から守るため、床を高くした高床倉庫が集落の中心に配置されている。

問9 ある博物館の「原始・古代」の展示室にて、3世紀の日本の様子を調査するために注目すべき史料や展示品の説明として、正しいものはどれですか。

(2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. 飛鳥時代の政治状況を示す「古代の戸籍」の断片と、仏教伝来の様子を描いた壁画の模写。
2. 志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印と、当時の北九州の王が後漢へ朝貢したことを示す記述。
3. 日本最古の貨幣とされる富本銭と、大宰府跡から出土した当時の外交官の記録。
4. 中国の歴史書『魏志倭人伝』の記述と、邪馬台国の女王が魏の皇帝から授かったとされる多数の銅鏡。

問10 弥生時代に作られた青銅器のうち、釣り鐘のような形をしており、表面に流水などの幾何学模様が施されている祭祀の道具を何というか。

(2026年 新潟県公立入試 類似)

1. 銅鏡
2. 銅鐸
3. 石包丁
4. 銅剣

問11 弥生時代に大陸から伝わり、日本の社会を大きく変化した稲作の広がりについて述べた文として、正しいものはどれか。

(2023年 佐賀県公立入試 類似)

1. 稲作の普及により、それまで使われていた打製石器がすべて消失し、すべてが青銅器や鉄器に置き換わった。
2. 稲作は日本全土に均一に広まり、北海道や沖縄においてもこの時期に大規模な水田開発が行われた。
3. 稲作は九州から始まり、東北地方まで広がったが、当時の気候や環境の影響もあり北海道や沖縄を除く地域に定着した。
4. 稲作が伝わった直後に大王（おおきみ）と呼ばれる強力な支配者が現れ、全国の開墾を命令した。

問12 千葉県茂原市の宮ノ台遺跡から出土した、弥生時代中期の代表的な土器である「宮ノ台式土器」が作られていた頃の世界情勢について、日本の状況と関連付けて説明したものとして正しいものはどれですか。

(2023年 千葉県公立入試 類似)

1. 日本では狩猟や採集が生活の中心であり、世界ではエジプト文明においてピラミッドが建設されていた。
2. 日本では仏教が伝来し聖徳太子が政治を行っていたが、世界ではメソポタミアでハンムラビ王が法典を制定した。
3. 日本では稲作が定着し、地域ごとに特色ある土器が作られる一方で、西洋ではローマ帝国が地中海を支配していた。
4. 日本では鉄器の使用が始まったばかりであったが、世界では中国の殷（商）が文字や青銅器を使用し始めていた。